

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年4月28日
【会社名】	北陸電力株式会社
【英訳名】	Hokuriku Electric Power Company
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 社長執行役員 松田 光司
【本店の所在の場所】	富山市牛島町15番1号
【電話番号】	076(441)2511(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部連結・制度会計チーム統括(課長) 中村 友一
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館内
【電話番号】	03(3502)0471(代表)
【事務連絡者氏名】	東京支社調査チーム統括(部長) 安倍 善志郎
【縦覧に供する場所】	北陸電力株式会社 石川支店 (金沢市下本多町六番丁11番地) 北陸電力株式会社 福井支店 (福井市日之出一丁目4番1号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき本臨時報告書を提出するものである。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日及び内容

2025年12月30日、当社の七尾大田火力発電所2号機(定格出力:70万kW)において、運転中に主変圧器の異常を検出し、保護装置が動作したことから自動停止した。

主変圧器の内部点検の結果、銅製導体の一部が溶けるなどの大きな損傷が発生していることを確認した。主変圧器内部の部材取り替えなどの大規模な修理となるため、七尾大田火力発電所2号機の復旧時期は2027年春頃となる見通しである。

本損傷の原因は、雷撃が主変圧器内部に侵入したことにより、変圧器内部の絶縁破壊に至ったものと推定している。今後、避雷器を強化するなど必要な対策を実施していく。

なお、今後の需給状況については、他の火力発電所や水力発電所の運転、市場調達等により、七尾大田火力発電所2号機が停止する期間においても、必要な供給力を確保できる見通しである。

過大な電圧がかかることで、絶縁体が本来もつ電気抵抗が急激に低下し、大電流が流れる現象

(2) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

2026年度の業績に与える影響については、当年度の停止期間中における代替電源の調達費用の増加などにより200億円程度を見込んでいる。

なお、影響額の見通しについては、本報告書提出日現在において入手可能な情報及び将来の不確実な要因に係る仮定を前提としているため、今後変動する可能性がある。

以上